調べてみよう「災害がおきたときに必要な物が家にあるかな?」

災害がおきると食べ物や水など生活に必要なものが不足してしまいます。災害に備えて家で普段から必要なものをそろえておきましょう。このチェックリストを使って家にあるものをチェックしてみましょう。

非常持出品

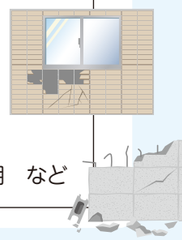
- □ 懐中電灯　□ 予備の乾電池　□ 携帯電話（充電器も）
- □ 非常食・飲料水　□ 雨具（カッパなど）　□ 筆記用具
- □ 手袋（軍手など）　□ ティッシュペーパー　□ 着替え
- □ タオル　□ ビニール袋　□ スリッパ　□ マスク
- □ 救急薬品や常備薬　など

備　蓄　品

- □ 飲料水（１人１日３リットル目安）１週間分を用意
- □ 食料品（保存のできるもの）　□ 衣類　□ 簡易トイレ　□ ティッシュ類
- □ 毛布・寝袋・マット　□ ライター・マッチ　□ 携帯用カイロ　など

調べてみよう「家で倒れそうなもの、落ちてきそうなものはないかな?」

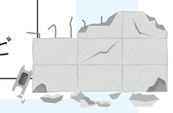
私たちの周りにあるものでも、地震が起きると凶器に変わってしまうものもあります。危険なものは何か知っておくことや、倒れたり落ちてきたりしないように対策を行うことが必要です。皆さんの家は大丈夫でしょうか。このチェックリストを使って、家にあるものをチェックしてみましょう。



家の周りにあるもので、地震のときに気をつける必要があるもの

- □ ブロック塀　□ 外壁　□ 屋根のかわら　□ アンテナ　□ プロパンガス
- □ ベランダの植木鉢　など

家の中にあるもので、地震のときに倒れたり落ちたりするもの



- □ 本棚　□ 食器棚　□ タンス　□ テレビ　□ 冷蔵庫　□ 体全体が写る鏡　□ 照明　など

防災コラム　「消防団」について知ってみよう。

消防団は、消防署と同じように消火や防災に関する活動を行っている組織で、全ての市町村に設置されています。

消防団員は、消防署の職員と違って、普段は会社員、自営業、主婦などをしながら、災害がおきると救助や消火活動を行います。災害時以外でもパトロールや訓練を行っていて、皆さんをはじめ、地域の人たちの安全と安心を守っています。

皆さんのお父さんやお母さんの中にも消防団員として活動している人がいるのではないでしょうか。

防災コラム　山梨県立防災安全センターを利用してみませんか?

山梨県立防災安全センターは、災害や防災について、無料で体験しながら学習ができる県内唯一の施設です。地震体験などできるので、ぜひ一度利用してみてください。

体験…地震体験、救命救護体験、消火体験、１１９番通報体験、災害用伝言ダイヤル体験などができます。

情報…防災情報コーナーや水害情報コーナーでは、被災地の写真など色々なものが展示されています。

利用案内

山梨県中央市今福９９１番地（山梨県消防学校の隣にあります）

利用時間　午前９時～午後５時　　電話番号　０５５－２７３－１０４８

休 館 日　第２・第４日曜日、祝日、１２月２９日～１月３日

防災

やまなし防災力向上テキスト
～災害って何?みんなで備えよう!～

名前　　学校　　年　　組

災害は皆さんの大切なものを突然奪ってしまいます。このテキストは、皆さんが、災害が起きたときに何をすればいいのかを考えて、災害から身を守るために役立てていただくものです。
災害に備えるために、このテキストを使って、家族や先生、友達とみんなで考えてみましょう。

災害ってなんだろう?

災害とは、地震、津波、大雨、大雪、暴風、竜巻、火山噴火などの自然現象や、大規模な火災などによって、人命や社会生活が被害を受けることをいいます。

私たちの住んでいる山梨県ではどんな災害が起きるのかな?

山梨県では、主なものだけでも、これだけの災害が発生する可能性があります。

南海トラフ地震（東海地震）

太平洋の静岡県～四国沖にある「南海トラフ」という水深４０００ｍ級の深い溝を震源とする地震で、数十年周期で巨大地震が発生しています。多くの都道府県で大きな被害が予想されていて、山梨県内でも家具が倒れたり、はわないと動けないようなとても強い揺れ（震度６強）が予想されています。

活断層地震

活断層地震は、１９９５年阪神・淡路大震災や２０１６年熊本地震のように、家屋倒壊などとても大きな被害をもたらします。山梨県内には、糸魚川ー静岡構造線や曽根丘陵断層などいくつもの活断層があるため、注意が必要です。

首都直下地震

東京都や神奈川県といった南関東地域を震源とする地震で、山梨県内でも最大で震度６強のとても強い揺れが予想されています。１９２３年に発生した関東大震災では、山梨県内でも大きな被害がでています。

大　雨

山梨県は周囲を険しい山々に囲まれているため、昔から大雨による河川のはん濫や土砂崩れなどに悩まされてきました。１９６６年には台風２６号による大雨により１５０人以上の方が亡くなるなど、大きな被害をもたらしたこともあります。

大　雪

山梨県は、雪が多い地域ではありませんが、２０１４年２月には、甲府でも１ｍを超える積雪を観測し、道路が各地で通行止めとなりました。お店から食べ物が無くなったり、ビニールハウスが倒壊したりと、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

富士山噴火

世界文化遺産である富士山は、国内外から多くの登山客・観光客が訪れる山で、昔から何度も噴火を繰り返している活火山です。1707年宝永噴火では、大量の火山灰が関東地方に広く積もりました。この噴火から３００年以上が経過しているため、注意が必要です。

発行　山梨県 防災局 防災危機管理課
電話 055-223-1432　FAX 055-223-1429　メール bosai@pref.yamanashi.lg.jp

災害がおきるとどうなる？どうすればいいんだろう？

災害が起きると、消防や警察などの公的機関も皆さんを救うために活動します（公助）。皆さんも自分の命は自分で守る（自助）、そして、自分の命を守ることができたら次は周りの人たちと助け合う（共助）ことがとても大切になってきます。

ここでは、皆さんが災害のときにまず自分の命を守るためにどうすればいいのか、地震と大雨を例に考えてみましょう。

地震の場合

❶ 地震が起きたとき、家や校舎など建物の中にいる場合には、倒れそうな家具や窓から離れて、机やテーブルの下に隠れて揺れが収まるまでじっとしていてください。机やテーブルが近くにない場合には、頭を守りながら揺れが収まるまでじっとしていてください。外にいるときに地震が起きた場合には、周りにブロック塀など倒れてきそうなものがない場所に移動して、かばんなどで頭を守りながら揺れが収まるまでじっとしてください。

❷ 揺れが収まっても、慌てて動くと上から物が落ちてきたりして危険です。家族や先生の言うことを聞いて落ち着いて行動してください。

考えてみよう「地震がきたら?」

地震はいつ起きるか分かりません。もしも次のようなときに地震がきたらどうしたらいいでしょうか。考えてみましょう。

● **教室で勉強しているとき** ● **校庭であそんでいるとき** ● **家で１人留守番しているとき** ● **登下校中**

大雨の場合

❶ 大雨が降ると、河川から水があふれてきたり、土砂崩れが発生したりします。大雨が降ったときは、危ないので川や水路、山の斜面には絶対に近づかないようにしてください。

❷ 大雨が長く続くようなときは、避難が必要となってくる可能性もあるので、市町村から発表される避難情報などに注意しながら、安全な避難場所へ避難してください。もし夜などで外に出るのが危険なときは、家の２階以上の斜面から離れた部屋に避難するだけでも助かる可能性が高くなります。

避難とは「危険をさけて身を守る」という意味です。
災害の種類に応じてどこに避難すればいいのか、普段から家族で確認しておくことが大切です。

調べてみよう「避難情報ってなに?」

避難情報といっても「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の３種類あります。それぞれどんな意味があるのか調べてみましょう。

避難準備・高齢者等避難開始	
避難勧告	
避難指示（緊急）	

防災コラム　防災訓練に参加してみよう!

毎年、８月から９月にかけて、みなさんが住んでいる地域で防災訓練が行われています。

訓練の内容は地域で違いますが、地域の人たちが協力して避難訓練や食べ物の炊き出し訓練、避難所での宿泊体験を行っているところもあります。

災害のときには、地域の人たちが助け合うことがとても大切です。学校の防災訓練では学べないこともたくさんあるので、家族や友達と一緒に地域の防災訓練に参加してみましょう。

ハザードマップってなんだろう?

災害が発生したときに皆さんが住んでいる地域にどんな影響があるのか、避難所はどこかなどの情報を地図にまとめたものです。地域によって、水害、土砂災害、火山噴火など、いろいろな災害を想定した地図が作られています。

調べてみよう「家や学校の周りは安全かな?①」

家や学校がある場所は大丈夫かな？ハザードマップで調べてみて、書き込んでみましょう。

どんなキケンがあるかな？（浸水や土砂災害のキケンなど…）

身近なところに潜むキケン

皆さんの身近なところにもキケンが潜んでいることがあります。

例えば…フタのない用水路、ブロック塀・石垣・電柱などがある道路、急な崖や土手、看板やガラスの破片が落ちてきそうな場所

調べてみよう「家や学校の周りは安全かな?②」

家や学校の近く、あとは通学路にキケンなところはないかな？書き込んでみましょう。

- 家の近く：
- 学校の近く：
- 通　学　路：

避難所・避難場所ってなんだろう?

避難所とは、災害によって家に住めなくなるなど、被害を受けた人や被害を受ける可能性がある人が避難生活をする場所のことで、主に学校や公民館などが避難所になっています。似たような言葉で「避難場所」というのもあります。これは、災害から、まず身の安全を守るために一時的に避難する場所のことをいいます。

やってみよう「どこに避難すればいいんだろう?」

災害時にどこに避難すればいいんだろう？ハザードマップを調べてみて、書き込んでみましょう。

- どこに避難すればいいかな？　大雨のときには、浸水に対しては「少しでも高いところへ避難する」、土砂災害に対しては「渓流や急斜面から離れる」ということを頭に入れておきましょう。
- 家から避難所まで行くのに、どのルートを通れば安全かな？（地図をかんたんに作ってみましょう）